

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こどもデイサービス きき		
○保護者評価実施期間	2024年12月6日		～ 2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 10名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	2024年12月6日		～ 2024年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	空間が広く、清潔で明るく整理整頓がされ、余計な装飾や情報を多くしないことで、必要な指示等が適切に配置され、子どもたちが混乱することなく、また、集中できるような環境づくりをしています 同じ空間であっても、活動の内容によって気持ちの切り替えができる環境作りをしています	障がいの特性や成長に応じて、都度、最適な支援環境(意思伝達のツールや指示掲示物、トランジションエリア等)に工夫をし、子どもたちが安定して過ごすことができるようにしています 時間を意識させる掲示や声掛けをすることで、自ら意識し行動することが習慣になるように取り組んでいます	余暇の時間に子どもたちそれぞれが場面に応じた行動や、他人との適切な距離感、コミュニケーションを理解し、ルールを覚え、守ることを身に付けていけるよう、職員の介入の加減を都度図りながら支援していきます
2	実務経験の長い、経験が豊富な職員が多く、協働期間も長いため連携がスムーズであり、様々なケースにチームとして対応してきた実績を積んできていることが強みです	各職員が、子どもたち個々の状況や実態を捉え(活動状況一覧表に記録)情報共有をし、全体を通して職員全員で検討することにより、より迅速に個々の課題を見出し、対応していけるようにしています 子どもの意思を聞き、説明や提案、気持ちの整理をさせることで行動や振り返りが出来るようにし、適切な言動・行動ができるように取り組んでいます	本人に目標や理想を考えさせ、意識すること自覚することを促し、自分自身を評価することで、反省や次はがんばろうという意欲に導く支援をしていきます 将来の進路を踏まえ、本人に適正のある作業等の取組みをさらに充実させていきます
3	障がいの特性や個々の課題、家族のニーズや子どもの成長に応じた個別の療育教材を使用し、日課として設定した個別活動の時間にそれぞれが必要な取組を行っています 療育教材については、5領域に則したものを作成し、機能訓練や作業、言語、コミュニケーション等に対応した教材を事業所で考え作成しています	職員は児童発達支援管理者が作成した個別支援計画を周知しており、計画に則した教材を全員で考え、作成し、使い個々の取組みに変化をもたせながら、偏ることなく、飽きさせることなく、活動に意欲を持ち、取り組めるよう工夫をしています	家族や本人が希望する進路やニーズ、合わせた取組や活動、作業等をさらに充実させていきます

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	駐車場が狭く周辺にもないため、保護者会など集団で交流する機会が設けられていません 活動の様子などを見学いただき、日常的に子どもたちがどのように頑張っているか、事業所の取組みに対し認知いただけるかなど、評価的に見学いただいた上で、保護者会として各家庭に交流いただき、育児に対する相談や、事業所への意見など、気軽にお話ができる時間を設けたいと思っておりますが、公共機関による来所などご家庭にご負担いただくことに対し検討が進まない状態です	事業所の立地により、容易に改善ができません	環境的に事業所内での交流は難しいので、現在は個別に日程を組み面談月間として参観日を設けています 福祉センター内体育館活動の日を利用し、交流の機会を設けたいと考えています
2			
3			